

配信日：2024年7月12日

件名：メルマガ\_第2号\_\_生成AIを活用する際の注意点

本文：

皆様、こんにちは！

第1回のメルマガはいかがでしたか？

[モニタリング 2.0 ワーキング 15](#)では、初心者でも生成AIを「上手く使える」・「使いたくなる」ことを目指しています。

今回は、第2回目の配信になります。ぜひぜひ、最後までお読みください！！

\*なお、このメルマガは80%以上、生成AIによって作られています。

<生成AIを活用する際の注意点>

#### 1. 倫理的な問題

- 偏見や差別: 生成AIは学習データの偏見を反映し、差別的な内容を生成する可能性があります。適切なデータセットを使用し、多角的に評価しましょう。
- 虚偽情報: 生成AIは真実と区別がつかない虚偽情報を生成することがあります。信憑性を検証しましょう。
- プライバシー侵害: 個人情報を含むデータを学習に使用するため、プライバシーに注意しましょう。

#### 2. 法的な問題

- 著作権侵害: 生成AIが既存の著作物を侵害する可能性があります。著作権法を遵守し、適切なライセンスを取得しましょう。
- 名誉棄損: 生成AIが誹謗中傷の内容を生成する可能性があります。法令を守りましょう。

#### 3. 品質的な問題

- 誤情報: 生成AIは誤った情報を含むことがあります。専門家のレビューが必要です。
- 論理的な破綻: 生成AIは論理的に破綻した文章を生成することがあります。整合性に注意しましょう。
- 創造性の欠如: 生成AIはありきたりな内容を生成することがあります。工夫して創造的な出力を得ましょう。

#### 4. その他

- セキュリティ: 生成AIシステム自体がセキュリティ被害を受ける可能性があります。対策を強化しましょう。
- コスト: 生成AIの利用にはランニングコストがかかります。目的に合ったプランを選択しましょう。

ちょっと、分かりにくいですね・・・改めて生成AIに以下の内容で指示してみました。

指示内容⇒「今度はもっと砕けた表現で、わかりやすく、まとめてもらえますか？」

1. **信じすぎないこと**

- 生成 AI の回答は、必ずしも正確ではありません。自分で確認することを忘れずに。

2. **プライバシーに気をつけること**

- 個人情報を入力しないように注意しましょう。

3. **著作権に気をつけること**

- 他人の作品をそのまま流用してしまう可能性があるため、権利侵害に注意してください。

4. **面白いけど、ちょっと変なこともある**

- 生成 AI は時々意外な回答をすることがあります。笑い飛ばしてください。

いかがでしたか？

生成 AI に指示する内容によって、様々な文章を生成できますので、ぜひ皆様も活用してみてください。  
今後も最新の生成 AI の情報、生成 AI を活用した業務改善方法をお届けし続けますので、ご期待ください。  
本メールは広告や宣伝を目的とするものではなく、参考情報です。活用については、ご自身での判断と責任で  
お願いいたします。

WG15 メルマガ班一同

本メールは、モニタリング 2.0 の会員にご登録いただいている皆様にお届けしています。

メールの配信停止は、いつでも行うことができます。

[こちら](#)からお手続きください。

メール配信停止のお手続きには、数日頂戴する場合がございます。

停止の設定後も一週間程度メールが配信される可能性がございますが、ご容赦のほどお願いいたします。